

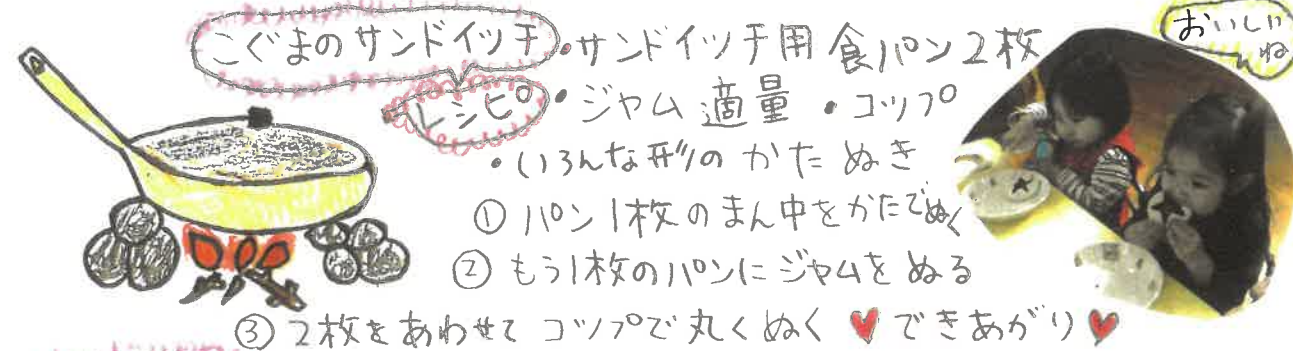
# H.31 3月号 こぐまだより Vol.11

春の暖かい日ざしが園舎や園庭を照らし、ようやく本格的な春を更感できるようになりました。ついこの間まで寒いわーやる気でないわーと言っていたのに... 待ちに待った春。優しい風が吹くと気持ちまで穏やかにそしてやる気がムクムクと湧いてくる。春かはずいだね。

こぐまのWA 『そににふうせんがあるから...』 それだけで子どもたちのふんばれー! 中には遊びがはじまっちゃう。ふわふわとあがるふうせんに子どもたちのじも身体もふわふわワクワク楽しくなる。そして... お母さんたちも! 赤VS青のチーム戦はママの本気が伝わり「がんばれー!」と思わず応援にも力が入りました。ふうせんと同じくらいみなさんの笑顔もホンホンはじけていましたよ。



今年度のこぐまくらぶは「食べる」ということを保育の中において活動してきました。生きるうえでとても大切な「食べる」ということを通じての子育てや保育の楽しさ、工夫そんなことが伝えられたらいいなと思っただけの活動でした。「このよでいちばん好きなのは... おりょうりすることたべること...」5人のお母さんが読み聞かせをしてくれたぐりとぐらの絵本。それぞれのお母さんがそれぞれの口で、声で、愛で子どもたちのじの中に届けてくれた最高のレシピ。とっても幸せな時間でしたね。



こぐまのじかん 空から舞い降りた雪を口を「あへん」と開けて食べたこどものじかん こと。雨の日に窓からつたって落ちる水滴を目で何度も何度もおいかけたこと。布を身体にまいてふとんの上に飛びあつたヒーローごっこ。泥んこ遊び、ゴムとび、ままごと... 子どものころ大好きだった遊びを時々ふと思い出す。お母さんに読んでもらった絵本のこと、お父さんに連れて行ってもらったヒーローの映画。小さいころ楽しかったこと夢中になったこと五感で感じたこと... 幸せだなと感じた記憶を思い出す時大人になった自分の中に子ども時代が今でも見づいていて気づくことがあります。子どものころの何げない日常の中で体験した時間は私たちが思っている以上に大切な自分の根っこを作っているように思います。親としてはわが子に対して他の子と比べてどうなのか、とか早く何ができるようになったとか枝葉の部分がとても気になりがちですが大人になって大切な記憶となっているのは一見何のためにもならないようななにげない日々の中でのじを動かした体験の中にあると思うのです。毎日の遊びや生活の中で楽しいなあ♡幸せななあ♡とを感じることを子どもの時間として大切にしたいですね。

またあそぼうね この一年間こぐまくらぶにたくさんのお友達が遊びに来てくれました。最初はははがしそりにしいたお友達も今は「せんせい〜」と笑顔で遊びに来てくれてとてもうれしかったです。またみんなで遊びましょう! みんなありがとう!!

H.31ねんどは 10:00 ~ Start  
 4/20(土) こぐまくらぶで会いましょう